

春日神社



まぐさ

宮司挨拶／祭典ごよみ／夏越大祭
大祓式・茅の輪神事のご案内
トピックス／花てみず／婚礼より

社報 春日神社

第三十九号

発行日 令和5年6月10日

発行者 〒870-0031

大分市勢家町4-6-87

春日神社 宮司 宮本隆之

TEL.097-532-5638

題字 東郷平八郎

ご挨拶

宮司 宮本隆之

先ず以って聖寿の萬歳と皇室の弥栄をご祈念申し上げます。

連休明けの五月八日、コロナウイルスの位置付けが「五類」へ変更となりました。三年余り続いた様々な規制が緩和され、私たちの生活もようやくコロナ禍前に近い状態に戻っていくことと思われまます。当初は毎朝の日供祭に併せて早期鎮静祈願祭を続けてまいりましたが、今回の政府の発表を受け、ただちに「新型コロナウイルス感染症衰勢奉告祭」を齋行した次第です。

今後は、これまで自粛を余儀なくされてきた神幸祭や神賑行事等を従前通りに執り進める予定ですが、三年間のブランクはかなり大きく再興への影響が予想されます。とりわけ多くの方々のご奉仕に依るところが大きい夏祭の神輿やこども神輿の巡行は、果たして元に戻ることが出来るのか、関係者一同心配しつつも準備に取り掛かっておりますので、皆様方には是非ともご参加ご協力下さいますようお願い申し上げます。

昨年の年明け早々に当地で発生した地震を含めて、国内各所で大小の地震が頻発しています。また、これから梅雨や台風の季節へと移っていく中で、自然の脅威に対しての「防災」が常に私たちの生活から切り離せません。

方や境内に目を向けますと、例年よりいささか季節の進みが早いのでしょうか、木々もすっかり新緑からその色を深めてきました。御創建以来千百有余年、自然の恵みのままに変わらぬ清々しい鎮守の杜に包まれた御社殿に額づき、日々皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

祭典ごよみ

六月三十日 水無月 大祓式

七月十八日 夏季大祭 宵祭

こども神輿巡行

七月十九日 夏季大祭 夏越大祭

神輿巡行

九月二十五日 摂社 天満社祭

十月十八日 秋季大祭 宵祭

十月十九日 秋季大祭 神幸祭

潮搔き神事

十一月十五日 七五三祭

※当日に限らず、毎日祈願祭を奉仕しています

十一月二十三日 新嘗祭

十二月三十一日 師走大祓式・除夜祭

毎月一日・十五日は月次祭

夏季大祭

七月十八日(火)

こども神輿巡行

十九日(水)

神輿巡行

午後四時 宵 祭

午後四時四十五分出御

(雨天時は二十日に順延)

午前十一時 夏越大祭

午後二時出御〜午後九時還御



当社祭典の中で一番規模の大きい行事である夏越大祭。

去年は台車(曳車)に神輿を乗せ、時間を短縮しての巡行となりました。五月よりコロナウイルスが五類に引き下げられたことを受け、氏子青年会では会長並び総先導を中心に四月より準備会議を開始。本番に向けて現在準備を執り進めております。

四年ぶりに従来の形での実施にあたり、神輿の担ぎ手が少ないことが予想されます。氏子町内で取りまとめをおこなっておりますので、ご参加の程お願い申し上げます。

※両日とも庄内神楽の奉納が行われます。
(午後五時〜午後九時)



奉燈

一〇〇基の立て燈籠

各企業・崇敬者のご協力により境内や参道には例年通りの「奉燈」が灯されます。夜には火袋に明かりが灯され、幽玄な世界へと誘います。

どうぞご参拝の上ご覧いただきたいと存じます。





水無月(夏越)の大祓式 茅の輪神事のご案内

一年のちようど半分にあたる六月三十日は、この半年の間に知らず知らずして身についた罪穢れを祓い除いて、無病息災・厄難消除を祈る神事「大祓式」が全国の神社でおこなわれます。この日、神職の手により一本一本選り分けられたみずみずしい茅と青竹で作られた「茅の輪」が本殿前に設けられ「茅の輪神事」と呼ばれる行事が執り行われます。
特に水無月の大祓式は「夏越の大祓」とも呼ばれ、

水無月の夏越の祓いする人は

千歳の命延ぶというなり

という古歌に歌い継がれているように、茅の輪をくぐることによって、元気に暑い夏を乗り切るとともに、新たに迎える半年をさわやかにまた清らかに過ごしていこうとする、私たちの祖先の生活の知恵とも言うべきものです。

この水無月の大祓式は、茅の輪をくぐることで悪い流行り病から命を守るためにも行われてきました。この神事を受け、病気に負けない心と体を整えて過ごしてまいりましょう。

尚、この「茅の輪」は三十日午後三時に立ち上がり、一週間ほど設置しています。

期間ならびに数量限定で社頭にて頒布いたします。

夏越大祓特別祈願符



茅の輪御守



○期間 六月三十日 午後四時

○初穂料 八百円

※ご用意数が無くなり次第に頒布を終了します。

夏越大祓限定御米印



○期間 六月三十日～七月十九日(夏季大祭)

○初穂料 三百円

夏越大祓 祈願祭

今年も一般希望者を対象とした大祓祈願祭を下記の通りに斎行致しますので、ご都合に合う日時をご確認の上、ご来社になり、お祓いをお受けください。

一、祭典日時

六月三十日(金)

・午後四時三十分
・午後五時

七月一日(土)

・午後三時
・午後四時
・午後五時

七月二日(日)

・午後三時
・午後四時
・午後五時

一、申込受付

・混雑を避けるため、先行予約をおこなっております。社務所までお問い合わせください。

・当日申込は各開始日時の十五分前までです。

・先着四十六名を超える場合はお待ちいただき、右設定時間に連続して執行致しますことをあらかじめご了承ください。

一、初穂料

お一人様(代表者) 二千元

※お連れのご家族様はお一人様一千元となります。

〔例〕四人家族の場合 代表者 二千元

他三名 三千元 合計 五千元

※初穂料は当日、授与所での受付時にお納めください。

一、当日の流れ

- ① 祭典前に受付にて人形(ひとがた)に氏名を記入
- ② 神職による大祓詞奏上、切麻・大麻によるお祓い
- ③ 茅の輪くぐり
- ④ 御本殿にて祈願祭参列
- ⑤ 撤下品(おさがり)授与
- ⑥ 終了

※祭典は神職により執り進められます。所要時間は約三十分です。

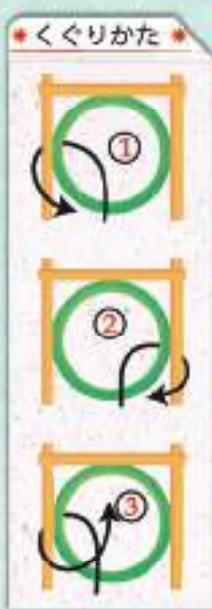
茅の輪の起源 蘇民将来のおはなし

その昔、旅の途中で宿が見付からず困っている神様がいました。神様は、蘇民将来、巨旦将来という兄弟に宿を貸してほしいと頼みました。しかし弟の巨旦将来は、裕福な暮らしをしていたのに断り、兄の蘇民将来は貧しい暮らしをしていましたが、神様に宿を貸して食事を提供してもなしたそうです。

そして数年が経ち、再び蘇民将来のところにその神様が訪れてきました。自分は「スサノオ」という神である事を伝え、あの時のもてなしの御礼に『もしも疫病が流行した時は、茅の輪を腰に付ければ逃れられるだろう』とお教えになりました。すると数年後、その地域で疫病が流行したとき、茅の輪を腰に付けた蘇民将来の家族だけは助かったそうです。

(備前国風土記・二十二社註式(祇園社)、蘇民将来説話)

茅の輪のくぐり方



左まわり・右まわり・左まわりと、8の字を書くように三度くぐり抜けます。そうすると身も心も清らかに祓われると云われています。



神道政治連盟国会議員懇談会所属 元内閣府特命担当大臣 宥村治子参議院議員来社



四月十八日、参議院選挙応援の為に来県中の有村議員が当社に参拝。玉串拝礼を行った後に参集殿に移動して、神道政治連盟大分県本部役員との時局懇話会を開催しました。

同氏は皇室敬慕や毎年の靖國神社参拝を行うなど、神社界との関わりも深く、この日はとりわけ領土問題について言及がありました。曖昧になっていた国内の島数を明確にしつつ、国家の重要な構成要素である領土の保全について国民もしつかりとした姿勢と意識を持つべきだとの発言に、参加者一同認識を新たに致しました。



神社庁祭祀舞研修会 当社にて開催



本年二月と昨年八月の二回にわたり、大分県神社庁主催の研修会が、大原八幡宮宮司橋本國房先生と、埼玉県今宮神社禰宜杉本昌子先生のお二人を講師として、当社を会場に開催されました。

今回の研修では朝日舞・豊栄舞の習得を目標として取り進められ、当社からも神職巫女が受講しました。いずれ機会をみて恒例祭にて大前に奉納したいと考えております。



奉納品紹介

本殿に設えた真榊が経年に依り傷んだことから、安部様お二人には昨年の金幣に引続き今回の奉納となりました。また、神楽殿の建具につきましても永年の風雨により劣化しており、豊後木材市場様より材木一式の奉納を頂き、新しく造り替えることができました。

誠に有難く重ねて御礼申し上げます。



真榊一対

安部 フジ子様
(株)嘉永 安部 智子様



神楽殿建具一式

(株)豊後木材市場 安部 省祐様

人事

■ 神社本庁辞令 ■

浄階並びに神職身分一級

宮司 宮 本 隆 之

(令和五年三月一日付)

四月末日に当社の点検会社である消防防災立会の元、職員での避難訓練を実施しました。社務所給湯室から出火の想定にて、発見・連絡・通報・消火・避難それぞれの役割を果たしつつ速やかに避難行動をとる事が出来ました。併せて水消火器での消火訓練も実施。今回は職員のみでの実施でしたが、披露宴での調理やその参列者の出入りなど集会所としての性格があることから、様々な状況での訓練を重ねていきたいと思います。

消防訓練



花てみず

期間

六月一日から八月中旬(お盆)頃まで

いよいよ梅雨入りとなり、雨や蒸し暑さで鬱陶しくなるこれからの季節、皆様になんか少しでも気分晴れやかにご参拝いただければと、手水舎の水盤を利用しての「花てみず」を今年も実施致します。今年で四年目を数え参拝者の方々がSNSなどで当社の手水を紹介してくださっております。是非ご覧いただければと存じます。

尚、手水は今後も感染症対策としてセンサー式のままのご利用と致します。



アジサイやひまわりなど色とりどりの季節の花々が月ごとに彩を変え、目を楽しませてくれます。

結婚式は ご両家の縁を固く結ぶ儀式 ブライダルフェア 毎月開催中

和装
試着
体験

会場
見学

相談会

洋服を着たまま気軽に白無垢や色打掛を体験できます！
結婚式専属のプランナーがご案内しますので、
挙式後の食事会や披露宴、前撮り、予算の事などもお気軽
にご相談ください。

詳しくはこちら

<https://www.kasuganomori.jp/wedding>

#神前式 #挙式プラン #家族婚

 Instagram kasugajinja_konrei

春日神社 婚礼担当 TEL097-532-5638

受付時間 9:30~17:00